

KHネオケム、みずほ銀行と「Mizuho Eco Finance」の契約を締結

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋 理夫)は、株式会社みずほ銀行(本社:東京都千代田区、頭取:加藤 勝彦)をアレンジャー(幹事金融機関)とし、シンジケーション方式による環境評価融資商品「Mizuho Eco Finance^{※1}」の契約を、2024年4月19日に締結いたしました。

「Mizuho Eco Finance」は、みずほ銀行が脱炭素社会への移行に向けた取り組みを企業と共に促進していくことを目的とした環境評価融資商品です。みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が開発した環境評価モデルを用いて、企業の取り組みや指数がスコアリングされ、一定のスコア以上を満たした企業に対し融資が行われます。

当社は、評価モデルに使用している指標において、主に下記項目において高い水準で満たしている点が評価され、本契約の締結にいたしました。

- 2022年1月に『気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosures)提言』への賛同を表明していること
- Scope1、2、3のGHG排出量を適切に把握し、さらに2030年におけるGHG排出量を2017年度比30%削減(Scope1,2)とした目標を掲げ、削減に努めていること

当社は、“「化学の力」で、より良い明日を実現する。”を企業使命とし、さまざまな産業分野に特色のある高品質な素材を提供する化学メーカーです。事業を通じ、社会課題の解決に寄与するとともに、持続的な成長を目指す「サステナブル経営」を推進しており、その主力である冷凍機油原料は、環境にやさしいエアコンに欠かせない素材として、地球温暖化抑制に貢献しています。また、当社のコア技術であるオキソ反応^{※2}は、二酸化炭素(CO₂)を原料として使用し、製造工程で発生したCO₂についても一部回収して原料として再利用するなど、GHG排出量の削減にも努めております。

これからも、VISION 2030^{※3}で掲げる「世界で輝くスペシャリティケミカル企業」を目指し、サステナブル経営をより一層推進し、社会の持続的な発展に貢献してまいります。また、ESGやSDGsへの取り組みを積極的に進めることで国際社会からの要請に対応するとともに、今後もESG関連の情報開示に努めてまいります。

■KH Neochem Report 2023

<https://www.khneochem.co.jp/sustainability/annual-report/pdf/khneochem.report.2023.pdf>

※1 「Mizuho Eco Finance」について

<https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20190628release.jp.pdf>

※2 オキシ反応について

オキシ反応(ヒドロホルミル化反応)は、各種オレフィンなどの原料と、一酸化炭素(CO)と水素(H₂)の混合ガスであるオキシガスを反応させ、アルデヒドを合成する反応です。このオキシガスの製造工程でCO₂を原料として使用しており、CO₂の有効的な利用方法として実際に工業化されている反応のひとつです。

※3 「VISION2030」について

<https://www.khneochem.co.jp/company/business-plan/vision/>

【KHネオケムについて】 ※2023年12月末時点。

社名	KHネオケム株式会社	
代表	代表取締役社長 高橋 理夫	
設立年	2010年12月(前身の協和油化は1966年11月設立)	
資本金	8,855百万円	
本社	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号	
従業員数	連結831名	
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売	
主要製品群	機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など) 基礎化学品(塗料インキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など)	
グループ会社	黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司	
沿革	1948年	協和産業(後の協和発酵工業)が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始
	1949年	協和発酵工業設立(現:協和キリン)
	1966年	協和油化設立(協和発酵工業の化学品製造子会社)
	2004年	協和油化に協和発酵工業の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル発足
	2010年	協和発酵ケミカルの全株式の取得及び合併を目的としてケイジェイホールディングス設立
	2011年	協和発酵ケミカルが協和発酵キリングループから独立
		協和発酵ケミカルとケイジェイホールディングス合併
	2012年	協和発酵ケミカルからKHネオケムへ社名変更
	2016年	東京証券取引所市場第一部に上場
	2019年	本社を現住所に移転
		オープンイノベーション拠点 KH i-Labを開設
	2022年	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

【本件についてのお問い合わせ先】

KHネオケム株式会社 広報・IR 部
 TEL:03(3510)3579 FAX:03(3510)3571
 東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
<https://www.khneochem.co.jp/>